

学びの基礎固め

1 学び合う学習ルールの確立

(1) 話し方・聞き方

伝え合いを大切にしたい学習を進めるための基本的な話し方・聞き方の視点を学校全体（授業部）で作成した。（資料1）

【基本的な話し方・聞き方】

○相手意識をもった話し方・聞き方

- ・反応を確かめながら
- ・反応しながら（話し手が言いたいことは何か、共通点や相違点を考えながら）
- ・間違いを大切に

○分かりやすい説明の仕方を工夫

- ・順序立てて
- ・算数的表現を使って
- ・表現様式の変換（言葉・図・式）
- ・具体物・半具体物、ホワイトボード・ICT（実物投影機）等を使用して

○いろいろな児童の発言を引き出す工夫

- ・黒板に提示した方法を他の児童が説明
- ・発表を途中で短く切って、他の児童につなげる。

笠岡市立今井小学校
授業研究部

学び合うための話し方（案）

筋道立てて説明しよう

結論を言ってから理由を説明する。
答えは～です。
理由は～です。

方法を言ってから説明する。
図を使って考えました。

考えた順番を示しながら説明する。
・まず ・次に
・それから ・最後に

区切って確かめながら
「ここまではいいですか」
・一文を短く

・計算の順序や考えたことが分かるように説明する。
・根拠をもって説明する。
・自分が操作したことや図などで考えたことを対応させて説明する。

考えをつなごう

～さんに質問します。 ～さんの続きを説明します。
～さんが言いたかったのは～だと思います。
～をまとめて言うと～です。

・友達のを聞いて自分の考えを確かなものにする。
・同じ考え方や通っているところはどんなところか。

よりよい考えをつくろう

・～さんの考えと～さんの考えの違うところは～です。
・～さんの考えと～さんの考えの同じところは～です。
・いつでも使えるのは～です。

・友達のを考えや表現のよいところはどこか（よさを共有）。
・数学的表現のよさの理解。
・よりよい考えをみんなで創る。

* 基本的な話形を大切にしながら、学級の実体に応じた話し方を研究してみてください。自分の解決方法と比較しながら他の子どもの発表・説明を聞くようにさせる。

- 1 自他の解決方法を明確にさせる。
- 2 自他の解決方法のよさを明確にさせる。
- 3 自分と比べながら発表・説明を聞くことが比較・検討の段階を充実させる。

（資料1）基本的な話し方

全体で共通理解した後は、学年の発達段階に応じて基本的なカード（資料2）（資料3）を作成し、教室前面に掲示した。それをもとに授業中により話し方・聞き方を認めていきながら教師と児童でクラスオリジナルの話型を作り上げていくようにした。

話しかためいじん

- 1 大きなこえではっきりと
- 2 みんなのほうをむく。
- 3 おわりまで言う。
- 4 じゃんじょよく話す。

まず

つぎに

さいごに

- 5 わけを言う。 なぜならほ
- 6 たしかめながら話す。

～ですね。

ここまでわかれますか？

- 7 かんがえをつないで話す。

○○さんにつけたして

くわしく言うと

（資料2）

聞きかためいじん

- 1 あいてを見て
- 2 いっしょうけんめい
- 3 うなずく。へんじをする。
- 4 えがおで
- 5 おわりまで

正しいのかな？

ともだちが言いたいことは～だな。

おなじところか？

ちがうところか？

しつもんをかんがえよう。

もっとわかりやすくしよう！

つけたしてくわしくしよう！

もっとわかりやすくしよう！

（資料3）

2年

学び合うための 話し方 聞き方

筋道立てて話そう

- 結論を言ってから理由を説明する。 答えは～です。理由は～です。
- 考えた順序を示しながら説明する。 まず～。次に～。それから～。最後に（だから）～。
- 確かめながら説明する。 ここまではいいですか。
- 方法を言ってから説明する。 図を使って考えました。

考えながら聞こう

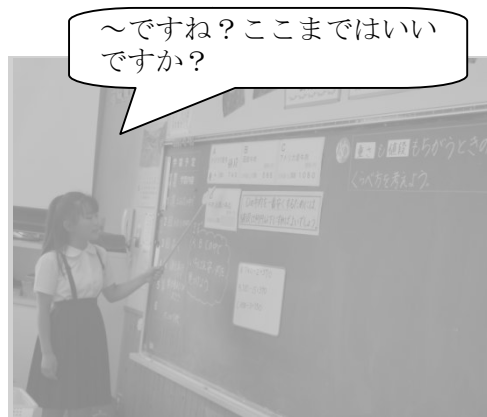
- 分かっていて聞く。 ～さんの考えは、～だな。～のところがよく分からないな。
- 反応しながら聞く。（うなずき、返事）
- 自分の考えと比べながら聞く。 自分の考えと同じかな、違うかな。

考えをつないでいこう

- 友だちの考えを受けて話す。
 - ・～さんに質問します。
 - ・～さんの続きを説明します。
 - ・～さんが言いたかったのは、～だと思います。
 - ・～さんと同じで（違って）～です。
- 考えをまとめて話す。
 - ・～さんの考えと～さんの考えの同じ（違う）ところは～です。
 - ・～をまとめて言うと～です。
 - ・いつでも使える（はやい・かんたん）ので、～がよりよいと思います。

(資料3) 6年

伝え合いを大切にした学習で、1時間の授業展開に、ペア学習、グループ学習、一斉学習、個人学習のどれをどこで用いるか学習形態を工夫している。ペアでの相談や解決等、伝え合いのねらいに応じて場を設定し、解決方法のヒントを得たり、学びを広げたり深めたりするようにしている。



友達の反応を確かめながら自分の考えを説明する児童



友達の発表に聞き入る児童

【ペア学習の進め方】

★解決方法の伝え合い

○どうやって考えましたか？

- ・～と考えました。
- ・私は、違う考えで～
- ・最初はよく分からなかったけど ○○さんの考えがヒントになりました。

★練習問題後の伝え合い

○答えは～になりました。

なぜなら ～

- ・説明がよく分かりました。

ペア学習の進め方

- ①互いに考えを伝え合う。
 - A. ほくは ～ と考えました。 ○○さんはどんな考えですか？
 - B. 私は ～ と考えました。
- 【考えに困ったとき】
 - A. ここまでは分かったのですが、ここからどうしていいか困っています。
 - B. ここを ～ してみてくださいか？
- ②わかりやすかったところを伝え合う。
 - ・ほくは、○○さんの△△△な考え方がよいなと思いました。
 - ・私は、△△△な考え方もできるんだということに初めて気づきました。
- ③質問する。
 - ・ここまでは分かったのですが、□□□がよくわからないので、もう一度教えてください。
 - ・なぜ、□□□と考えたんですか？ ○○○ではできないですか？
- ④よりよい方法を見つけよう。
(2人の考えをまとめてみよう。)

チャレンジ

- ・ほくの○○な考えとAさんの△△△な考えを使うともっと簡単に考えられるね。
- ・私たちの考え方は似ていたね。どんな説明のしかたがもっとわかりやすくなるかな？
- ・僕たちの考え方は少し違っていたね。でも、答えは一緒だ。どちらの方法がわかりやすいかな？

(資料4) 5年

(2) ノートの使い方

「基本的なノートの使い方」を作成し、これをもとに各学年の発達段階や実態に応じて指導している。学習内容によって、ワークシートの方が効果がある場合は、形式を工夫して作成し、使用している。



【基本的なノートの使い方】

日付、ページ数、問題番号などを書く。

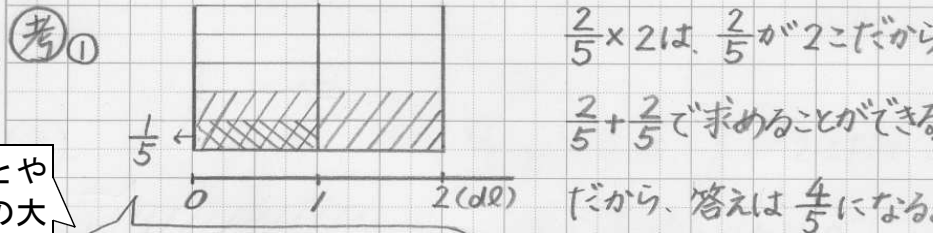


① 1 dl で $\frac{2}{5} m^2$ ぬれるペンキがあります。このペンキ 2 dl では、板を何 m^2 ぬれますか。

$$\text{式 } \frac{2}{5} \times 2$$

② 分数 × 整数の計算の仕方を考えよう。

③ 方法の見通し、結果の見通しなどを書く。
(書かない場合もある。)



気付いたことや友達の考えの大切なことをメモして残すようにする。

$\frac{1}{5}$ が何こになるか? だから分母はそのままだよ。

・図や言葉や式で自分の考えを表す。
・まちがえた考えも消さずに残して新しい考えを書くようにする。

⑤ 分数 × 整数の計算は、分母はそのまま、分子にその整数をかけるとよい。

⑥ ○○さんの説明を聞いて、分数に整数を

○わかったこと
○がんばったこと
○友だちの考えのよいところ } などの観点を意識しながら、文章で書く。
○もっとやってみたいこと
○よく分からなかったこと

・○○さんの発表を聞いて、・・・すればよいということがわかった。
・話合いの時に、○○さんが・・・という考えを言っていてよかったと思う。
・今日の学習で・・・ことがわかったので、次は、・・・について考えてみたい。